

ガスシステム改革に向けた国民からの御意見

(平成25年12月19日～平成26年1月23日)

※個人情報等を除き、御意見本体について原文を掲載しております。

御意見①（平成25年12月20日）

このたび、「都市ガスシステム改革」のための検討が開始されたことを経産省の周知やマスコミなどの情報で知りました。

私は、ガス会社で永年（約20年）ガス事故やトラブルが多発した激動時代に事故処理対応や予防保全の保安業務を経験してきました。また退職後もシニアベンチャーとして、ガスの保安技術などコンサルティング業務や派遣業務を事業として運営していますが、これらの経験から、今回の「ガスシステム改革」に関する意見募集にあたって、実際の現場の状況をふまえ、一国民の視点として意見を述べさせていただくことにしました。

なお、参考資料として「危機管理システム研究学会」に掲載された拙文「保安管理（リスク管理）と経営管理」を同封しましたので、ご覧いただければ幸いです。

記

1. ガス事業の自由化と新規参入する企業の条件

昨今の社会情勢の変化や時代背景を考えれば、基本的にはガス事業の自由化には賛成です。

健全なガス事業運営のためには、社会のニーズにこたえながら、企業としての合理化をはかり、料金や保安など消費者のサービスに向けた競合があるべきです。ただし、ガスエネルギーの使用にあたっての危険性をふまえ、常に消費者の安全（以下保安という）を重視するべきという経営理念が必要であり、その点において、ガス事業は他の業界の自由化とは異なる側面を持っていることを認識すべきです。

現在、ガス事故やトラブルなどの発生は少なくなっていますが、都市ガス業界は約130年の歴史を有しており、過去の業界の先輩たちや現役の皆様方の努力の結果として、保安体制が定着し今日に及んでいます。特に昭和30年～50年代は日本の高度経済成長に伴う、地下鉄・道路工事、建設工事の近代化、消費機器の拡大などの影響もあり、ガス事故が多発しました。この間、ガス事業者は事故再発防止のためのハード、ソフトの事故対応や予防保全などの施策を講じることにより、今日のガス安全システム化社会になったのです。現在、ガス事故の発生率は大幅に減少しましたが、発生した場合の損失や影響力は変わっていません。これらの安全化対策の歴史が消費者からの信頼性を得ている源になっていると思っています。

いわば、ガス事業は農耕型経営であり、欧米の狩猟型経営（自由競争だけの世界）とは異なるものであり、見かけ上の単純な自由競争という定義に当てはまりません。

新規参入する企業は自由と同時に保安を重視する公益事業としての認識をもつことが極めて重要です。

都市ガス事業は民間事業ではありますが、国民のために奉仕するという公共性の役割を担っており、公益事業とは公共事業と民間事業の中間的な存在として認識しております。ガスの使用に伴う危険性を認識したうえで、多種多様な消費者の生命や財産などを守るという保安意識（公共性）が強く求められる事業であります。

現在、公益事業者は、他の民間事業者と同じ競争の原理で運営されていますが、ガス事業者は「保安」のため、ガス事故防止のための緊急出動などの事後保全、予防保全などトータルコストのなかで、法規制下で自主的な運営がなされています。

一般的には都市ガス事業は地域独占企業としてみられがちですが、企業としての公益性をかなり要求されるものであります。

ガスに関する事故・トラブル発生から国民の生命・財産を守るという使命を考慮しながら事業としての新規参入を期待するものであります。

2. ガス事業における販売・保安は一体なもの

経営者の論理からいえば、自由化とは競合の世界ですから、「ガスの保安」の問題は建前として理解するが、要員や費用は極力最小限にしたいというのが本音です。一般的には「保安」は負（マイナス）の論理が支配します。

企業内では「保安」は建前であり、本音としては、販売活動のようなプラス面はありませんから、“保安費用はあまりかけたくない、要員は極力すくなくしてコストは最小限にしたい”という願望があります。このため、日常的には事故発生が少ないので、「保安」は事後で対応することとなり、“保安に従事する要員は極力減少させ、結果として管理面不足や専門技術者育成が低下するという傾向になります。

ガス事業に関して言えば、「販売・保安」は一体なものであります。

保安部分だけを外部へ委託することも考えられますが、この場合はガス事業者として、専門知識を有する人材による発注側の管理が当然の前提であります。ハードやソフト保安面の新技術開発によるコストダウンは期待できなくなり、保安コストも上昇傾向となります。また、まれに大小の事故が発生すれば予想しない莫大なコストが発生します。

消費者の視点で考えると、販売と保安を一体としてみていますから、「保安」は当然であり、負（マイナス）の論理などは理解できません。不測の事態が発生すれば当然糾弾されます。ガス事業者が日常的に直接に安全を担保してくれ

るわけですから、信頼性の向上というプラス面が多く、ガス事業者からみても企業のイメージアップ、販売向上、メンテナンスのコストダウンなどトータルのプラス効果につながるのです。

安全性を強く求められる事業であるという重要な点が、一般的な民間事業とは異なることを認識すべきであります。

よく「保安責任」があるから、大変だという声がありますが、ガス事業は保安が前提ですから「保安責任」は当然であります。保安業務の内容を考慮したうえで、合理的な対応策を考えれば負（マイナス）の論理をなくすことができます。この点が一般的な民間事業者には理解されにくいところです。

明治の実業者で東京ガス（株）の初代社長の渋沢栄一氏の経営哲学は「論語とそろばん」であります。ガス事業は、特にこの経営哲学が求められると思います。

3. 大口需要家対象と小口需要家対象の自由化では対応は異なる

10年以上まえに大口需要家の自由化が行われ、運営されていますが、小口需要家の場合の場合とは根本的に異なります。

大口需要家の場合は、何らかの形で設備関係の管理者がいて、事業者側からは特定の人を対象にした調査・周知等、大口ガス事業者、大口需要家双方の管理により、保安が確保されていると思われます。

しかし、家庭用や小口の業務用需要家の場合は、不特定多数の需要家が対象であり、使用環境や利用する人が多種多様であるため、ガスの使用に伴う事故・トラブルが起きてからの対応よりも、起こさないための予防保全（設備・機器の定期調査や不備個所の対策など）などきめ細かい地道な対応が必要であります。家庭用では、新旧の住宅や戸建てと集合住宅に対応した保安対策、業務用では多様な飲食店などの店舗形態や建物構造などの差に応じた保安対策など地道な需要家サービスが求められからです。

また、地域に密着した合理的な緊急出動体制（一次、二次、復旧対応など）の確立など大口需要家対策とは異なった施策が必要であります。

4. その他

現行のガス事業法及びガス事業（LP ガスも含む）の行政面での意見もありますが、これは後日にいたします。

以上私の個人的な意見を述べさせていただきましたが、不明な点や背景など必要とあれば参上してご説明させていただく用意があります。

何なりと申し付け下さい。

以上

御意見②（平成 26 年 1 月 23 日）

「都市ガスとプロパンガスの料金格差について」

我が家のプロパンガス料金と都市ガス料金についての意見を書かせていただきます。

2013 年 12 月に請求があったガス料金が 10,500 円でした。

私は夫との二人暮らしでガスを使用するのは毎朝のシャワー、料理と食器洗い、お風呂のお湯を溜めたのは今のアパートに住み始めた 2013 年 5 月以降 1 度のみです。

昼間は家には私ひとりです。

この使用程度で 1 万円を超え驚きました。

知人や両親にガス料金を尋ねたところ、京都に住む両親は都市ガスの 2 世帯住宅でガスファンヒーターも使用し、お風呂にもお湯を溜めていて 8,000 円ほどでした。

現状は上記の通りですが、私の意見はガス代が高いということだけではありません。

普段から電気や水などの資源は地球のためにできる限り使用量を抑えるようにしています。

高いからではなく地球の資源の無駄遣いは許されないと思うからです。

このように考えている人々がどれくらいいらっしゃるかは存じませんが、皆がこのように考えるべきだと思っています。

さて、主題に戻りますが、私の知るところではガスは輸入していて価格の変動があります。

これによる値上がりは仕方ないと思っているのですが、それではどうして都市ガスとプロパンガスの値段がここまで違うのかということに疑問を感じています。

請求書に基本料金が記載されていなかったためガス会社に問い合わせたところ調べてやっ
と教えていただけました。

そして計算すると我が家では 1 m³あたり 590 円の単価でのガス料金を支払っています。

不動産屋にガス会社を変えられないかと問い合わせましたが無理ですとのひと言。

ガスの使用を一切やめて電気に切り替えることもできるかもしれませんが、原発に対しては
反対意見を持っておりますので現状ではやはりガスも旨く使用して生活していきたいので
す。

今の住まいは田舎ですのでプロパンガスは仕方ないのかもしれませんが、日 本の中での都
市ガスとプロパンガスの料金の違いがこんなにある状況は普通ではないと思います。

直ぐに、変えられるものではないかもしれませんが、目を向けていただけたらと思います。

なにとぞ、よろしくお願いいたします。